

コーポレートポリシー11

グローバルプライバシーおよびデータ保護

目的

本ポリシーの目的は、個人情報のプライバシーを保護することをストライカーが誓約することにあります。ストライカーは、正当なビジネス上の目的のために、従業員、サプライヤー、患者、医療従事者、顧客、またその他の人物から得た個人情報を収集・利用します。こうした情報を適用法に従って機密かつ安全に保持することが、ストライカーのポリシーです。

適用範囲

本ポリシーは、勤務地に関わらず、ストライカーのために働くすべての従業員および請負業者に対し適用されます。本ポリシーの規定が、あるストライカーのビジネスユニットに適用される現地や地域の法律に適合しない場合、そのビジネスユニットは必要な範囲において、現地や地域の法律に適合させるために、本ポリシーの補則を策定すべきです。現地や地域の法律の補則が策定されていない場合、本ポリシーのすべての規定が効力を有します。

本ポリシーは、すべての個人情報に適用されます。個人情報とは、その情報単体で利用される個人を特定できる情報、もしくは、他の情報と組み合わせると利用される個人を特定できる情報を指します。

基本ポリシー

ストライカーは、個人情報の利用を規制するあらゆる法律を保護し、遵守します。個人情報の保護および利用に適用されるすべての法律に加え、ストライカーは以下に明記する基準に従うことを誓約します。

- 1. 正当な目的による収集と処理:** ストライカーによる個人情報の収集・利用は、正当なビジネス上の目的においてのみ、かつ適用法に従って行われます。
- 2. 収集した情報の利用に関する通知:** ストライカーと関わりがあり、個人情報を開示する個人は、自分の個人情報がストライカーによってどのように利用されるのかを把握する権利を有します。
- 3. アクセス:** ストライカーは、実施可能で適用できる場合、個人が自らの個人情報にアクセスして、これを閲覧、更新もしくは修正する機会を提供します。
- 4. 完全、正確かつ最新の内容:** ストライカーは、個人情報が完全、正確、かつ最新の内容となることを確保するための合理的な努力を行います。
- 5. セキュリティと機密性:** ストライカーは、個人情報を不正な利用や開示から保護することを誓約します。ストライカーが社内ですべての個人情報を共有する相手は、正当なビジネス上の理由からその情報を必要とする人物のみに限定します。ストライカーは、個人情報の機密性および安全性を保護するために、管理上の、また技術的および物理的な予防手段を確保するための努力を行います。
- 6. 第三者による情報処理:** ストライカーは、ストライカーの業務を支援し、ストライカーの代理としてサービスを提供するために、第三者と協働するか、第三者のシステムを利用する場合があります。ストライカーでは、ストライカーの代理として個人情報を利用・処理するすべての第三者に対し、個人情報の機密性および安全性の保護を義務付けています。第三者は、ストライカーの指示の下においてのみ個人情報を処理することが義務付けられています。
- 7. 国を越えた共有:** ストライカーは、当社の子会社および関連会社との間で、正当な業務上の必要性から個人情報を共有する場合があります。個人情報が国を超えて共有された場合、ストライカーは国を越えた共有に関する適用法および基準に従います。

責任

個人情報のプライバシー保護に、ストライカーの全従業員が責任を負っています。グローバルプライバシープログラムは、ストライカーの各部署および事業部門との協力の下、本ポリシーへの遵守を確立する上で必要となる追加の基準を策定します。

コンプライアンス

ストライカーでは、すべての従業員と請負業者が本ポリシーに従うことを義務付けています。本ポリシーまたは関連の手順に関する質問があるか、個人情報のプライバシーと保護に関して懸念がある場合は、ストライカーの人事担当者、コンプライアンスオフィサー、リーガルカウンセラー、または倫理ホットラインまで連絡してください。ストライカーは、法律によって認められた範囲において、かかる報告の機密性を保持します。